

第49回青森県身体障害者福祉大会・八戸大会を開催



(式辞(東山会長))

青森県身体障害者福祉大会を八戸市において令和7年10月12日(日)に開催しました。八戸市での開催は8年ぶりとなります。

開催に先立ちHULA教室の方々によるフラダンスの披露があり、参加者の皆様を大いに楽しませていただきました。

式典では、長年にわたり障害福祉に貢献された方々、昨年度、佐賀県で行われた全国障害者スポーツ大会において優秀な成績を残された方々へ知事表彰、会長表彰が授与されました。益々のご活躍をお祈り申し上げます。

その後、大会宣言と大会決議が提案され、満場一致で承認されました。決議された要望事項をもって後日、県に要望書を提出いたします。

来年度は全国障害者スポーツ大会が青森県で開催される関係で、本大会の開催を見合わせ、次回は令和9年度に弘前市で開催予定です。多くの方々のご参加をお待ちしております。

知事表彰・スポーツ功労者

鮫ノ口 芳 幸 (八戸市)
白石 洋 平 (むつ市)
小野寺 淳 (階上町)

会長表彰・更生援護功労者

荒 谷 勇 夫 (八戸市)
柏 崎 まつゑ (八戸市)
田 附 治 則 (八戸市)
毛 利 優 子 (八戸市)



(表彰式)

百 鳥 正 直 (八戸市)
西久保 賀 庸 (八戸市)
赤 坂 愛 二 (八戸市)
山 市 富士雄 (田子町)

会長表彰・ボランティア功労者

神 フ デ (鶴田町)

会長表彰・スポーツ奨励者

栗 山 裕 成 (八戸市)
相 内 紀 貴 (今別町)
金 原 花 鈴 (青森市)
高 橋 政 彦 (八戸市)
花 田 章 夫 (青森市)
寺 山 輝 昭 (青森市)

大 会 宣 言

障害に対する理解促進が一層求められる中、県内各地から参加した多くの仲間とともに、ここ、八戸市において、第49回青森県身体障害者福祉大会を盛大に開催することができた。

我々は、障害の有無にかかわらず、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切に、支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受できる共生社会を目指している。

来年は本県で全国障害者スポーツ大会が開催され、この大会を契機に、障害及び障害のある者に対する理解が一層高まることが求められる中、誰もが暮らしやすい共生社会の実現に向け、関連施策の実施を目指して行動していく。

これらを達成するため、一般財団法人青森県身体障害者福祉協会は会員相互の強い連携のもと、一致団結して行動することを誓い、ここに宣言する。

大会スロガン

- 県身協および加盟各団体の組織強化を図ろう
- 地域共生社会の実現を目指そう

大会提出要望事項

- 1 「県身協及び加盟団体連携のもと、組織体制の強化を図ろう」について
青森県身体障害者福祉協会をめぐる情勢は、会員の高齢化・死亡等により益々弱体化してきている。そこで、今まで以上の組織強化策が必要であり、県をはじめ市町村等の支援が不可欠である。
- 2 「障害当事者参画のもと、障害関係施策を促進

させよう」について

障害者権利条約を踏まえ、障害当事者参画のもと、障害者施策の促進と障害特性に配慮した社会環境の整備が図られるよう、当事者参画について今一層の理解を図ってほしい。

- 3 「全県下での障害者団体の活動を充実させよう」について

会員の高齢化、死亡、脱会等により障害者団体は脆弱になっており、行政及び地域社会福祉協議会などの格段の支援をお願いしたい。

- 4 「身体障害者相談員の活用と周知徹底を図ろう」について

身体障害者相談員の活用と周知徹底を図り、障害者相談員活動の充実及び相談活動の強化を目指したい。

第5回県身協会長杯ポッチャ大会を開催

令和7年度身体障害者スポーツ振興基金運営事業として、令和7年12月7日(日)に第5回県身協会長杯ポッチャ大会を開催いたしました。

今大会は参加対象者を県身協加盟団体のみとし、各団体の活動活発化と団体同士の交流機会を目的として開催いたしました。

5チーム15名に参加頂き、3対3のトーナメント形式で試合を行いました。

成績は次の通りです(敬称略)

【令和7年度第5回県身協会長杯ポッチャ大会 成績】

優勝：「あおぼクラブ」

青森市身体障害者福祉会

(寺山輝昭、佐藤敏子、中里トモエ)

準優勝：「しちのへ」

七戸町身体障害者福祉会

(天間竜一、疋勝悦、沢尻政司)

新しい体育館の暖房が機器トラブルのため使用出来なくなり、寒い中での開催となりました。ご参加いただきましたチームの皆様にはこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

次回のポッチャ大会にもたくさんのご参加をお待ちしております。



(優勝チーム)



(参加者)

東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会

令和7年11月13日、宮城県仙台市秋保温泉において、第31回東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会が、東北各県及び北海道からたくさんの相談員の方々が参加して、開催されました。

この研修会は、東北・北海道ブロックに所属する道県及び政令都市で結成された身体障害者相談員連絡協議会が主管となり、相談員の資質向上や相互の情報交換を目的に、例年、各道県・政令都市の持ち回りで開催されています。青森県からは、蝦名良孝事務局長含め、身体障害者相談員関係者8名が参加しました。

参加された皆さん、お疲れ様でした。令和8年度は10月末に岩手県盛岡市いわて県民情報交流センターで開催される予定です。

東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会に参加して

それでは、私から今回の仙台の研修会について、簡単に紹介させていただきます。

最初に東北福祉大学の石塚教授より「小さな声が創るインクルーシブな防災の未来」という演題で基調講演がありました。石塚氏は福祉の関係者でもなく、ましてや防災の関係者でもなく、土木関係の仕事についておられるとのことでした。

そして、この講演の中で画期的だったのが、アメリカのカリフォルニア州から発した、新しい障がいの捉え方(AFN)で災害対応から生まれた概念だそうです。個々の機能障がいから「障がい」にアプローチするのではなく、同じ「困りごと(AFN)」が生じやすい多様な個人にアプローチするというものです。

例えば、視覚障害者には視覚情報の障壁がありますが、文字情報の理解が困難な人には、知的障害者、子ども、外国人等がおられますが、この同じ「困りごと」が生じる個人にアプローチすることが必要です。私も初めての概念で上手く説明できているのか不安ですが、お分かりになったでしょうか。

この講演の中では、インクルーシブとかスティグマ等の福祉の専門用語が普通に使われていて、会場の中の多くの方が講演の中身を理解できたのかは、甚だ疑問で残念な気がしました。

また、同講師が進行役を果たしたワークショップでは、我がグループは講師の意図する「困りごと」を出すことが出来ずに、殆ど雑談に終わってしまいました。最後の講評では、こういう話し合いの場を持つことが一定の価値があると言ってもらい、少しホットしております。

私の一番好きな懇親会ですが、私は阿部会長の隣で普段の自分が出せなかったのが心残りです。また、森会長が小さな声で言っていた二次会も我が県の参加者は大変楽しんだとのこと、非常に充実した研修会だったと言えるのでは…。



(相談員研修会参加者)

車いす使用者用
駐車区画



優先駐車区画



青森県おもいやり駐車場サポートセンター

■受付時間■

火・水曜日・年末年始除く毎日

8:30-16:30

TEL 017-752-7343

FAX 017-752-7344

e-mail aomori.omoiyari@aa.wakwak.com

ホームページ <https://www.aomori-omoiyari.jp/>

(単位:円)

**令和6年度
一般会計
(県身協法人会計)
収支決算書**

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1 事業活動収入				
(1) 会費収入	1,852,000	1,685,799	166,201	3団体未納、1団体一部未納
(2) 補助金・委託金収入	33,980,048	33,980,048	0	全スボ派遣費・おもいやり駐車場サポートセンター運営事業等
(3) 配分金・寄付金等収入	297,898	297,898	0	日身連収益事業
(4) 諸収入	279,774	155,510	124,264	駐禁除外車標章手数料等
(5) 基金繰入	6,883,000	6,883,000	0	福祉創成基金・障害者スポーツ振興基金
(6) 退職積立金繰入	1,937,280	1,937,280	0	
当期収入合計	45,230,000	44,939,535		
収入合計(A)	45,230,000	44,939,535	290,465	
2 事業活動支出				
(1) 運営費支出	3,752,280	2,830,912	921,368	
人件費	600,000	0	600,000	
会議費	250,000	86,100	163,900	
事務費	400,000	243,332	156,668	事務用品・役務費等
退職金	1,937,280	1,937,280	0	
諸支出金	565,000	564,200	800	ねむのき会計へ400,000円、日身連会費等
(2) 事業費支出	41,430,048	40,471,864	958,184	
①一般事業	7,450,000	6,491,816	958,184	
県身障福祉大会費	350,000	331,823	18,177	
青年部会対策費	20,000	20,000	0	
広報費	420,000	207,411	212,589	県身協だより年2回
全国会議等派遣費	150,000	110,920	39,080	
6地域福祉協議会	180,000	120,000	60,000	
市町村活動費	67,000	66,985	15	
地域福祉リーダー等研修会費	10,000	0	10,000	
ねむのき祭り開催事業費	70,000	29,484	40,516	
障害者社会参加促進事業	300,000	0	300,000	
身障スポーツ基金運用事業	5,883,000	5,605,193	277,807	
②補助事業	16,892,648	16,892,648	0	
③委託事業	17,087,400	17,087,400	0	差別解消相談事業、身障相談員強化事業、おもいやり駐車場サポートセンター運営事業
(3) 予備費支出	47,672	1,988	45,684	
(4) 基金戻入支出	0	1,186,416	▲ 1,186,416	
(5) 投資活動支出	0	0	0	
支出合計(B)	45,230,000	44,491,180	738,820	
当期収支差額(A)-(B)	0	448,355		
前期繰越収支差額		0		
次期繰越収支差額		448,355		

*収入の部の差異の▲印は収入増を示し、支出の部の差異の▲印は支出増を示す。予算額は現計予算(補正後予算)を示す。

(単位:円)

**令和7年度
一般会計
(県身協法人会計)
予算書**

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減	備 考
1 事業活動収入				
(1) 会費収入	1,776,000	1,852,000	▲ 76,000	
(2) 補助金・委託金収入	36,489,394	33,980,048	2,509,346	全スボ補助金、おもいやり駐車場サポートセンター運営事業等
(3) 配分金・寄付金等収入	238,000	298,398	▲ 60,398	日身連収益事業
(4) 諸収入	186,606	279,274	▲ 92,668	駐禁除外車標章手数料等
(5) 基金繰入	13,060,000	6,883,000	6,177,000	福祉創成基金、障害者スポーツ振興基金
(6) 退職積立金繰入	0	1,937,280	▲ 1,937,280	
収入合計	51,750,000	45,230,000	6,520,000	
2 事業活動支出				
(1) 運営費支出	1,715,000	3,752,280	▲ 2,037,280	
人件費	500,000	600,000	▲ 100,000	
会議費	250,000	250,000	0	
事務費	400,000	400,000	0	
退職金	0	1,937,280	▲ 1,937,280	
諸支出金	565,000	565,000	0	
(2) 事業費支出	50,003,394	41,430,048	8,573,346	
①一般事業	13,514,000	7,450,000	6,064,000	
県身障福祉大会費	350,000	350,000	0	
青年部会対策費	20,000	20,000	0	
広報費	250,000	420,000	▲ 170,000	
全国会議等派遣費	150,000	150,000	0	
地域福祉協議会	180,000	180,000	0	
市町村活動費	74,000	67,000	7,000	
地域福祉リーダー等研修会費	10,000	10,000	0	
ねむのき会館自主事業開催費	70,000	70,000	0	
障害者社会参加促進事業	250,000	300,000	▲ 50,000	
身障スポーツ基金運用事業	12,160,000	5,883,000	6,277,000	
②補助事業	25,200,000	16,892,648	8,307,352	全国障害者スポーツ大会等
③委託事業	11,289,394	17,087,400	▲ 5,798,006	差別解消相談事業、身障相談員強化事業、おもいやり駐車場サポートセンター運営事業
(3) 予備費支出	31,606	47,672	▲ 16,066	
支出合計	51,750,000	45,230,000	6,520,000	